

1. 内政

(1) ペレス・モリーナ大統領に対する予審手続

先月、汚職事件の関与への疑いにより、ペレス・モリーナ大統領の不逮捕特権剥奪可否の予審手続が開始されたものの、憲法裁判所は同手続きを停止する仮処分を行っていた。1 日、憲法裁判所が同仮処分を撤回したことにより、捜査委員会による予審手続きが再開された (14 日、予審手続停止請求を認めない最終判決が下された)。先月、イチョス捜査委員会委員長が辞任を表明したことにより、2 日、後任としてサルバドル・バルディソン LIDER 議員 (バルディソン LIDER 大統領候補の弟) が選ばれた。3 日、捜査委員会は、ペレス・モリーナ大統領が汚職に関与した可能性があるとして、不逮捕特権の剥奪を国会に進言した。不逮捕特権剥奪可否の最終判断については、国会で決議が行われる。

(2) 野党大統領候補に対する予審手続請求の棄却

1 日、最高裁判所は、バルディソン LIDER 大統領候補及びトーレス国民希望党 (UNE) 大統領候補に対する予審手続請求を棄却した。グアテマラでは、大統領候補に不逮捕特権が付与されるが、先月、両党が有権者に対して建設資材引換券を配布していた疑いにより、不逮捕特権剥奪可否に関する予審手続請求がなされていた。最高裁は、請求棄却の理由として、両候補が建設資材引換券の作成指示を行った証拠がないためと説明した。

(3) VIVA 大統領候補の立候補を認める判決

5 日、最高選挙裁判所は、スリ・リオス VIVA 大統領候補の立候補届出を不受理とする旨を発表した。最高選挙裁判所によれば、グアテマラ憲法は、元大統領の 4 親等以内の親族による大統領選立候補を禁じており、リオス・モント元大統領の娘であるスリ・リオス候補には立候補資格がないとした。22 日、最高裁判所は、同氏の立候補資格を認める仮処分を下したが、最高選挙裁判所はこれを不服として、憲法裁判所に上告した。31 日、憲法裁判所はスリ・リオス候補の出馬を認める判決を下した。

(4) 野党議員等に対する予審手続請求

6 日、検察庁及びグアテマラ無処罰問題対策国際委員会 (CICIG) は、最高裁判所に対して、野党 LIDER の国会議員 4 名及び市長 1 名の不逮捕特権剥奪にかかる予審手続開始の請求を行った。上記 5 名は、それぞれ職権濫用、資金洗浄、公金横領等の疑いがかけられている。なお、検察庁によれば、本件にかかる捜査は、ロドリゲス社会開発大臣の告発によって開始された。

(5) 選挙及び政党に関する法

先月末、最高選挙裁判所は、「選挙及び政党に関する法」の改正案を国会に提出した。同案では、「無効票が過半数を占めた場合の選挙やり直し」、「選挙開催時期の変更」、「国会議員の再選を一期のみとする」、「国会議員による所属政党離党に対する処罰」等が盛り込ま

れた。6日、国立サン・カルロス大学を中心に120以上の団体がデモ行進を行い、同改正案の早期可決を求めた。

(6) マルティネス前官房長官の逮捕

9日、マルティネス前官房長官(6月に辞任)が斡旋収賄、組織犯罪等の疑いにより逮捕された。マルティネス前官房長官は、同日に逮捕された友人のメディナ氏やロダス前エネルギー鉱山大臣(5月に就任するも同月中に更迭)等と共に、ジャガー・エナジー社に対して便宜を図っていた疑いが持たれている。

(7) ポルティージョ元大統領の立候補届出不受理

13日、最高選挙裁判所は、みんなの党(TODOS)から国会議員総選挙に立候補していたポルティージョ元大統領の立候補届出を不受理とする旨発表した。最高選挙裁判所によれば、憲法は立候補要件として「適切さ(idoneidad)」及び「誠実さ(honradez)」を定めており、米国において資金洗浄の罪で有罪判決を受けているポルティージョ元大統領は同要件を満たしていないと判断された。

(8) 野党UNE副大統領候補に対する立候補取消請求

14日、バルキン野党LIDER副大統領候補は、最高選挙裁判所に対して、リアル野党国民希望党(UNE)副大統領候補が立候補要件を満たしていないとして、立候補の取消しを請求した。

(9) 野党LIDER副大統領候補に対する予審手続請求

15日、検察庁及びグアテマラ無処罰問題対策国際委員会(CICIG)は、資金洗浄の疑いにより、バルキン野党LIDER副大統領候補、バルキン同党国会議員(バルキン副大統領候補の兄)及びマルティネス国会議員の不逮捕特権剥奪可否にかかる予審手続請求を最高裁に対して行った。

(10) 違法な政治資金

16日、ベラスケス・グアテマラ無処罰問題対策国際委員会(CICIG)代表は、会見を開き、グアテマラにおける政党とマフィアのつながりについて説明した上で、マフィアが選挙に影響を及ぼしている旨指摘した。CICIGによれば、政治献金の出所の50%は公共事業を行う建設会社や政府調達における納入業者、25%は組織犯罪グループ(麻薬密輸等)、25%は企業エリートであると述べた。

(11) 元国税庁長官の逮捕

31日、ビジェダ元国税庁(SAT)長官(2008-2012年)他、元国税庁職員が脱税幫助の疑いで逮捕された。同長官は、2009年から2012年にかけて、計59百万ケツアル(約7.7百万米ドル)の脱税を許可していた。

2. 外交

(1) CICIG

1日、ベラスケス・グアテマラ無処罰問題対策国際委員会(CICIG)代表は、モラレス外

務大臣、メンディサバル内務大臣、アルダナ検事総長、バキアシュ最高裁長官と共に国連本部を訪れ、国連及びドナー国に対して、CICIG の役割、活動状況、マンデート延長の理由等について説明を行うと共に、CICIG に対する支援を要請した。

(2) 太平洋同盟

2 日、ペルーで第 10 回太平洋同盟首脳会合が開催され、グアテマラはオブザーバーとして参加した。同首脳会合に出席したビエルマン外務次官及びフローレス経済次官は、グアテマラを太平洋同盟の正式加盟候補国に認定するよう要請した。太平洋同盟加盟には、全ての原加盟国と FTA を締結することが要件とされており、グアテマラは対ペルー FTA が未発効となっている。

(3) G13

7 日、ペレス・モリーナ大統領は、当国における援助供与国・国際機関グループ「G13」と会合を開催した。同会合において G13 は、政府による医薬品調達におけるリバースオークション（競り下げ方式）の実施を可能とするため、政府が進める契約法の改正可決を支援する旨述べた。また、G13 は、国税庁（SAT）の改革を支援する旨表明した。

(4) 対米関係

9 日、グアテマラを訪問中のシャノン米務省参事官は、ペレス・モリーナ大統領と会談を行った。同会談において、「中米北部三角形繁栄のための同盟計画」を通じた支援について協議した。

(5) 米州機構

米州機構（OAS）は、社会学者のコルラソリ氏（元国連職員）を本年 9 月 6 日に実施予定のグアテマラ総選挙の OAS 選挙監視団長に任命した。29 日、コルラソリ OAS 選挙監視団長は、グアテマラを訪れ、モラレス外務大臣等政府高官を表敬した。

3. 経済

(1) 海外送金の増加

グアテマラ中央銀行（Banguat）の発表によれば、本年 6 月までの国外出稼ぎグアテマラ人等からの送金額は、2,955.1 百万米ドルに上り、前年同期比で 9.3%増加した。6 月の送金額は 536.3 百万米ドルとなり、前年同月比で 11.3%増加した。中銀によれば、本年の送金額は 5,986 百万米ドルに達する見通し。

(2) 第 1 四半期 GDP 成長率

グアテマラ中央銀行（Banguat）の発表によれば、第 1 四半期の GDP 成長率が 4.8%となった（前年同期は 3.4%）。モンテロソ中銀エコノミストは、国内製造業の好調に加え、主要貿易相手国である米国の経済回復が高い成長率につながったと述べた。

(3) スマートフォン・タブレット端末組み立て工場の開設

8 日、グアテマラ南部のエスクイントラ県において、グアテマラ初となるスマートフォン・タブレット端末の組み立て工場（Sollen Mobile 社）が開設された。カナダ、メキシコ、

米国及びグアテマラの投資によって建設され、同工場で製造された端末は、韓国の「Lucid」ブランドの商品として販売される。

(4) ヒルトン・ホテルの当国進出

ヒルトン・ワールドワイルド社は、グアテマラ市第9区に Hilton Garden Inn (全109室) をオープンした。同ホテルは Hotel Princess を改装したものであり、運営は引き続きプリンセス・グループ (グアテマラ及びエルサルバドル資本) が行う。

(5) 対ペルー貿易

グアテマラは、世界貿易機関 (WTO) に対し、ペルーが輸入する当国産砂糖、米、トウモロコシ等の価格帯設定が不当であるとして申立てをしていたが、20日、WTO はグアテマラの申立てを認めた上で、ペルーに対し、同価格帯設定の解除を命じた。

(6) 観光客の増加

観光庁 (Inguat) によれば、本年上半期のグアテマラ訪問者数は、107万人に上り、前年同期比で3.8%増加した。

(7) 経済見通し

29日、国連ラテンアメリカ・カリブ経済委員会 (ECLAC) は、ラテンアメリカ諸国の経済見通しを発表した。ECLAC によれば、グアテマラの本年の経済成長率は4%になる見通しである。

◇主要経済指標◇

	2015年			2014年	2013年
	7月	6月	5月		
インフレ率 (前年同月比)	未発表	2.39%	2.55%	2.95%	4.39%
貿易収支 (百万ドル)	未発表	未発表	△524.1	△7,475.6	△7,493.1
輸出 (百万ドル)	未発表	未発表	1,017.4	10,805.5	10,024.8
輸入 (百万ドル)	未発表	未発表	1,541.5	18,281.1	17,517.9
外貨準備高 (百万ドル)	未発表	7,717.7	7,649.8	7,333.4	7,272.6
外国からの送金 (百万ドル)	未発表	536.3	519.0	5,544.1	5,105.2
為替レート (対ドル月平均)	7.65	7.65	7.69	7.73	7.86

(出所：中銀、国立統計局)

注) 2013年及び2014年の為替レートは年平均

4. 治安・社会

(1) フェゴ火山の噴火

6月28日、グアテマラ南部 (サカテペケス県、チマルテナンゴ県、エスクイントラ県) に位置するフェゴ火山の活動が活発化し、同30日には溶岩が流れ始めた。1日、火山活動がさらに活発化すると、国家災害対策調整委員会 (CONRED) は警報を発し、周辺住民68名を避難させた。

(2) 市長選候補の殺害

2日、サン・マルコス県サン・ホセ・エル・ロデオ市の市長選に立候補していたアンスエト候補（国民希望党）が銃撃を受け、搬送先の病院で死亡が確認された。

(3) 道路の陥没

11日、グアテマラ市第6区の道路が陥没し、直径4メートルの穴があいた。グアテマラ市広報担当は、地下の配管の損傷が陥没の原因であると説明している。なお、グアテマラ市では、昨年9月にも第7区の幹線道路が陥没を起こしている。

(4) 大学間協定

27日、国立サン・カルロス大学は、チリ国立サンティアゴ・デ・チリ大学と学術連携協定を締結した。

(了)